

2024年12月16日
PIARC活動報告会
日本道路協会

PIARC道路統計委員会の 活動について

大西博文、英語セクレタリ
(株式会社片平新日本技研)

道路統計委員会の設置と目的

設置経緯

PIARC道路統計委員会は、2019年のPIARC年次総会で設置が承認され、2020年に活動を開始した。この設置の背景としては、2014年から2018年にかけて当時の菊川滋PIARC日本代表実行委員（PIARC名誉副会長、現橋梁調査会理事長）主導のもと、日本関係者が中心となり、PIARC加盟国の道路統計専門家と協働して行った、国際道路統計に関するパイロットプロジェクトの成果が高く評価されたことが挙げられる。

設置目的

- それぞれの統計指標に関して、PIARC加盟国間での同一の定義と要件に基づいた国際比較を可能にし、その結果、各国の道路および道路交通の成熟度を正確に評価できるようにすること
- 加盟国の道路行政に対して、信頼性のある国際的な道路統計データおよび分析結果を提供し、定量的な評価にもとづいた道路政策や各種施策の立案に資すること

道路統計委員会のメンバー構成

委員会役付きメンバー

- ① Mohamed NOUHI (Canada, Chair)
- ② Hirofumi OHNISHI (Japan, English Secretary)
- ③ Maria TEBAR (France, Spanish Secretary)

日本メンバー

- ① 大西 博文 (片平新日本技研)
- ② 土肥 学 (国土交通省)
- ③ 岡 利幸 (ネクスコ中日本)
- ④ 一木 慎太郎 (国土交通省)
- ⑤ 西村 巧 (計量計画研究所)
- ⑥ 山下 英夫 (国土交通省)
- ⑦ 粕谷 ひろみ (計量計画研究所)

ワーク項目

- ① PIARCロードデータブックに収録する指標を選定し、その定義を設定する。
- ② 指標のデータや情報を加盟国から収集するためのアンケート票を作成する。
- ③ 加盟国にアンケート票を送付し、回答を収集する。
- ④ 指標のデータや情報を、正確性を確認しながら整理し、作表する。
- ⑤ 指標のデータや情報を分析する。
- ⑥ 分析結果に基づいてデータブックを作成する。

委員会開催予定

No.	Meeting	Date	Place
1	Kick-off meeting	2024年2月5～7日	パリ（フランス）
2		2024年10月7～9日	ウィーン（オーストリア）
3		2025年4月14～16日	リール（フランス）
4		2025年秋	東京（日本）
5	冬季大会に参加	2026年3月	シャンベリー（フランス）
6		2026年秋	TBD
7		2027年春	TBD
8	世界道路大会に参加	2027年10月	バンクーバー（カナダ）

PIARC道路データブックの特徴

- 1) 指標データの分析を豊富に含む。
- 2) 定量指標だけでなく、道路政策のような定性指標も含む。
- 3) 指標の定義は国際比較が可能となるように注意深く設定する。
- 4) 指標は道路及び道路交通の全体像が得られるようにバランスよく選定する。
- 5) 指標を深掘りする（詳細情報を収録する）。

* 定量的データを収録する一般的な統計書とは異なり、各国の基礎的データと組み合わせた様々な分析結果や定性指標データも含む内容で構成しているため、「データブック」と称して編纂している。

前期成果の紹介 道路関係主要分野と指標

主要分野	指 標
(1) インフラ	①高速道路延長 ②主要幹線道路延長 ③橋梁延長 ④トンネル延長
(2) 自動車	⑤自動車保有台数
(3) 交通	⑥自動車走行台キロ
(4) 安全	⑦交通事故死者数
(5) 環境・エネルギー	⑧自動車燃料消費量
(6) 予算	⑨道路予算
(7) 政策	⑩道路政策

高速道路延長の分析結果

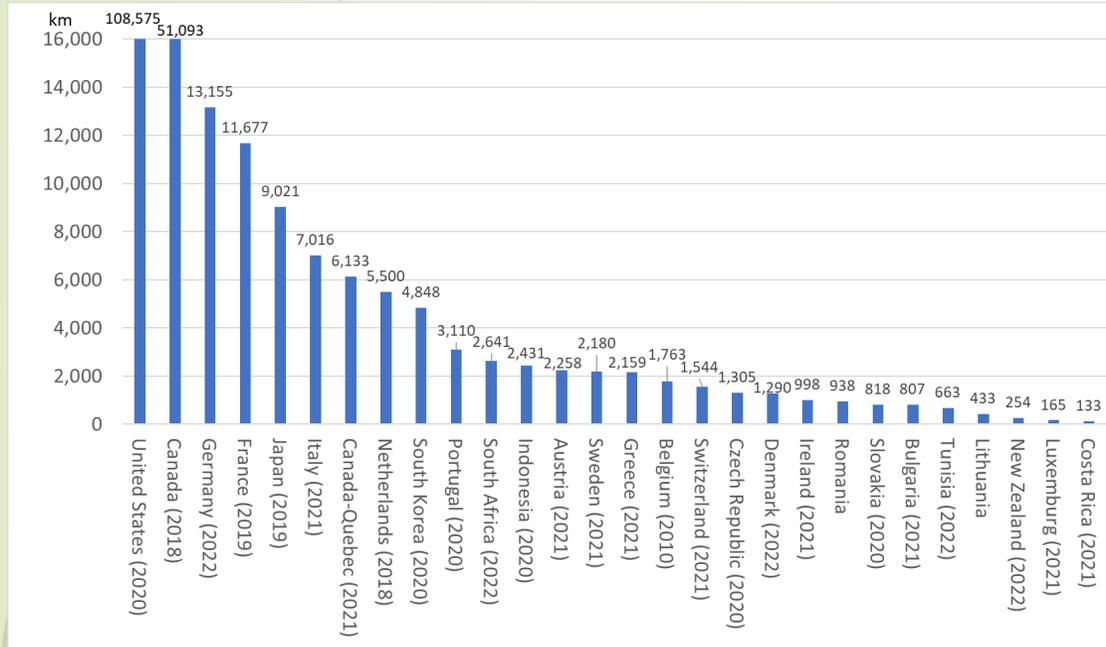


図-1 高速道路延長

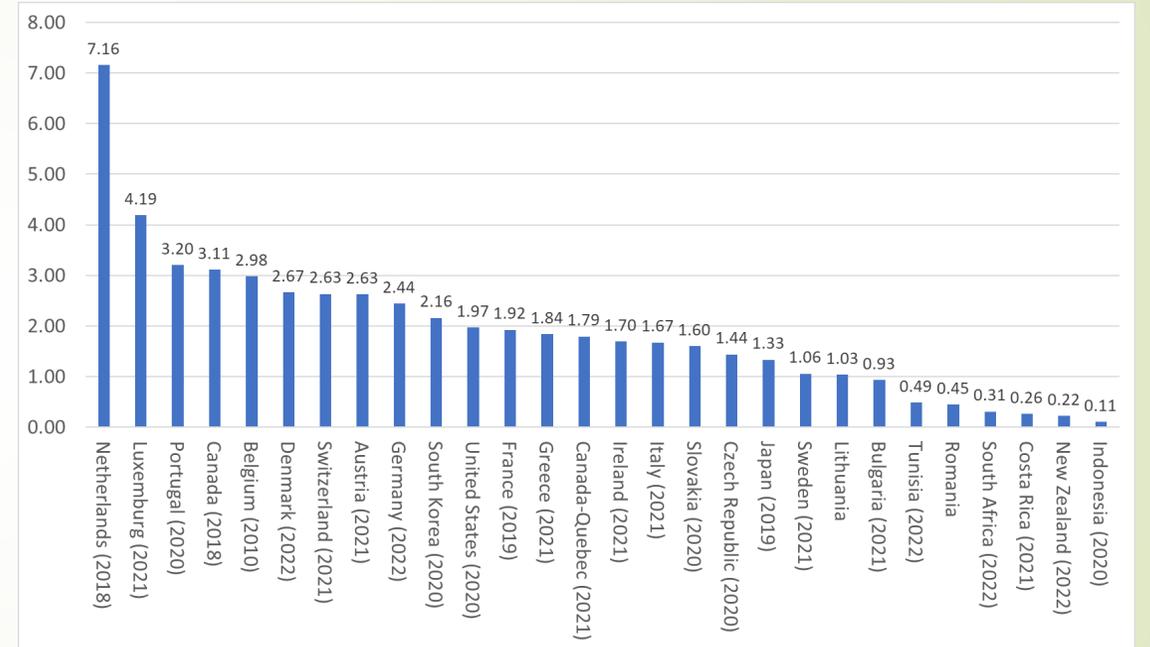


図-2 √PAで除した高速道路延長

橋梁延長の分析結果

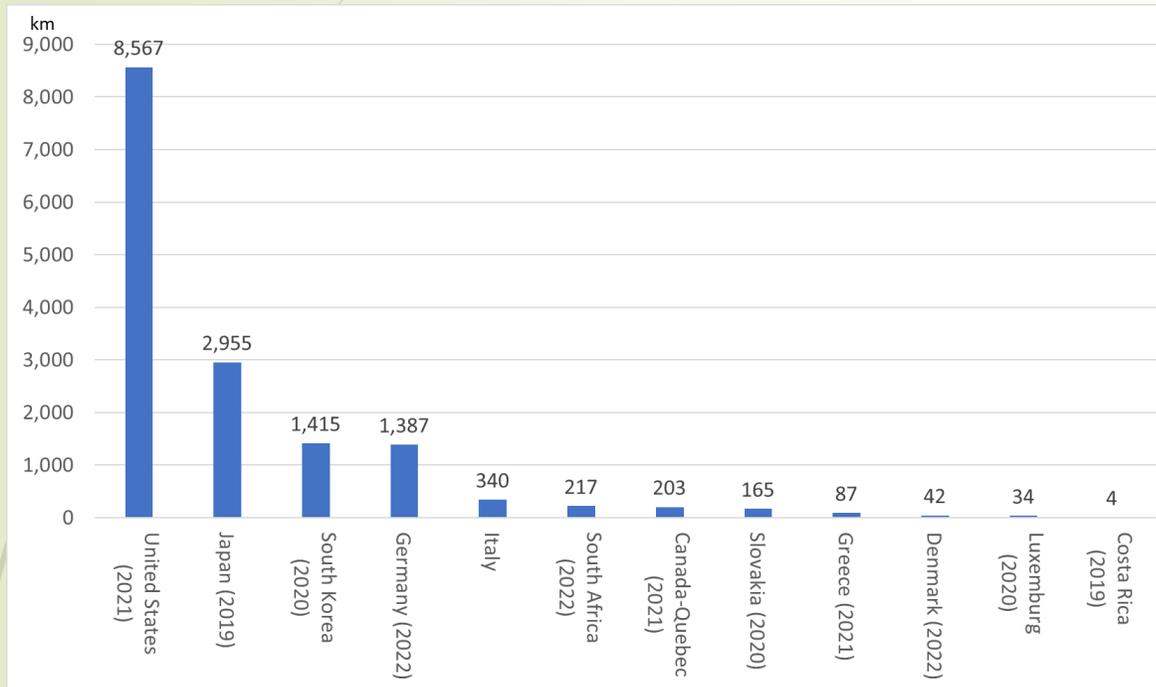


図-3 高速道路の物理的な橋梁延長



図-4 橋梁全体の平均年齢

自動車保有台数の分析結果

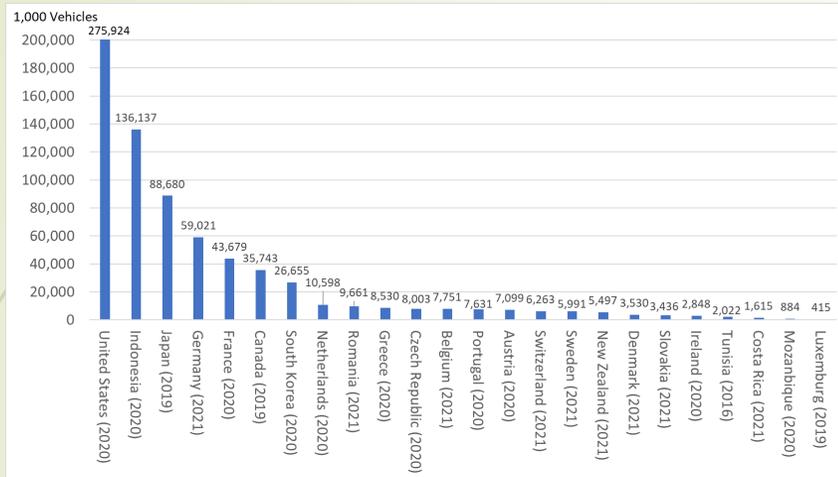


図-5 自動車保有台数

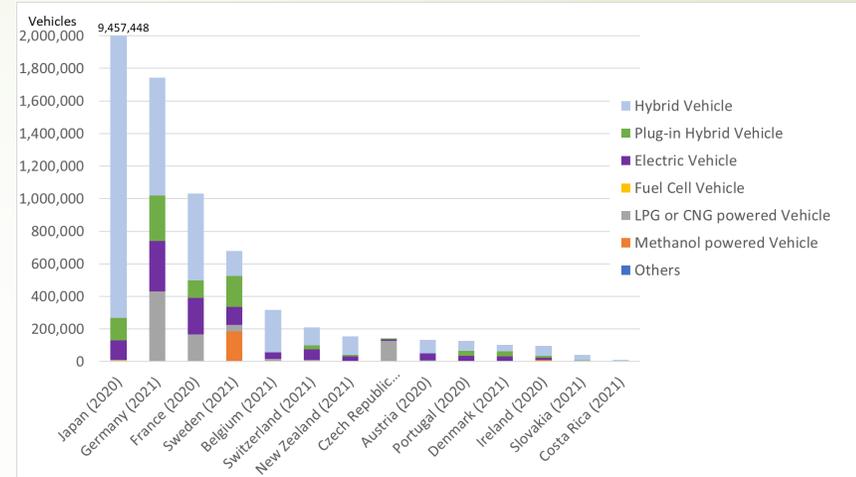


図-7 環境に配慮した自動車保有台数

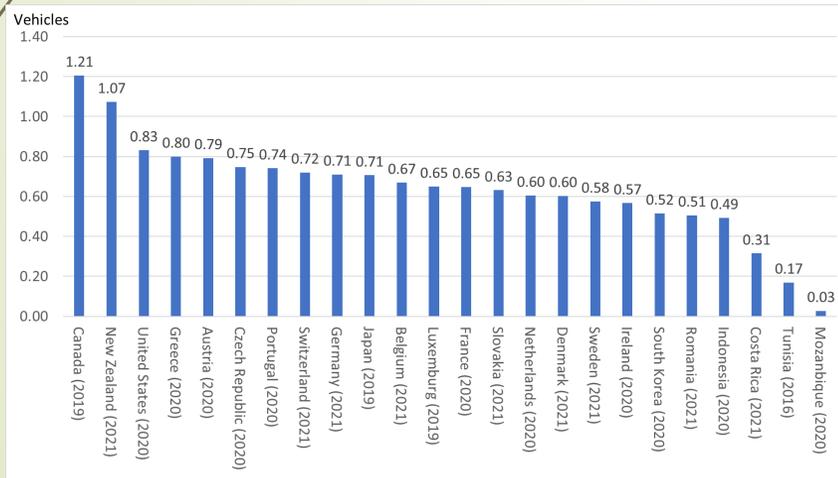


図-6 人口一人当りの自動車保有台数

交通事故死者数の分析結果

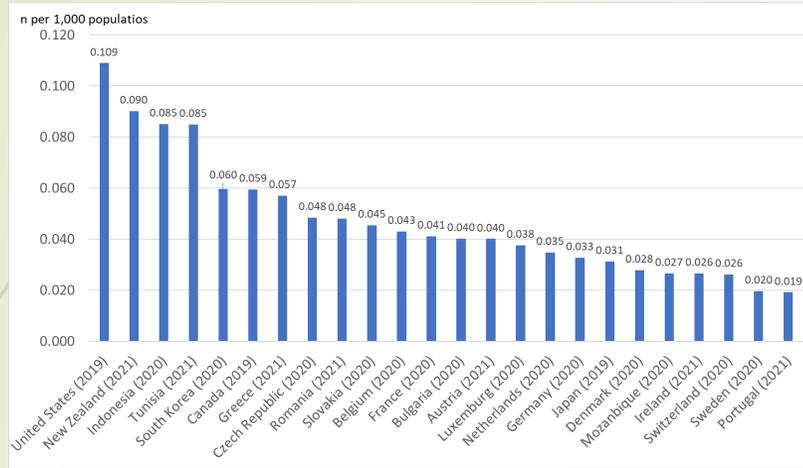


図-8 全道路の千人当りの事故死者数

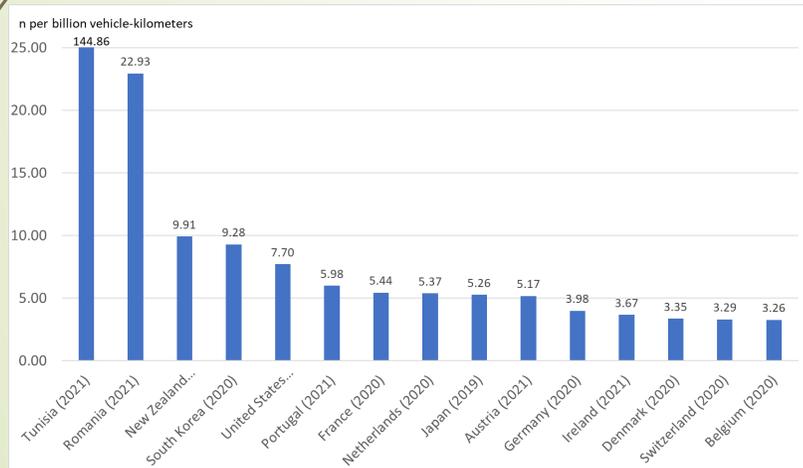


図-9 全道路の総走行距離当りの事故死者数

PIARC道路統計委員会の活動

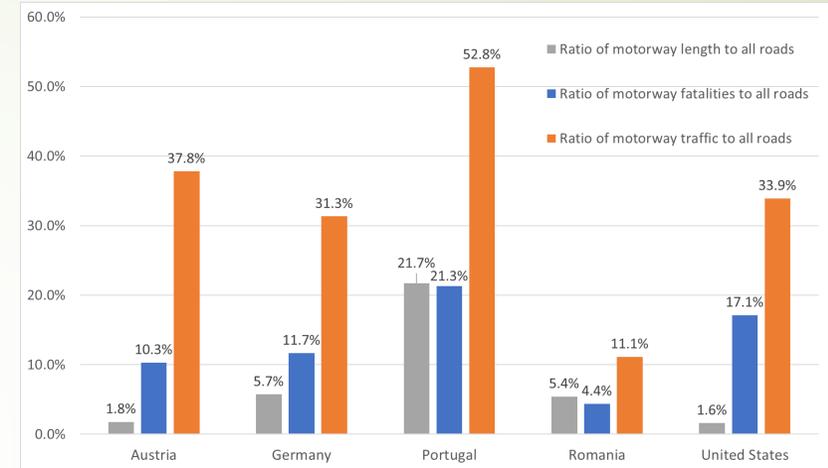


図-10 高速道路の全道路に対するシェア (延長、事故死者数、走行台キロ)

道路政策の分析結果

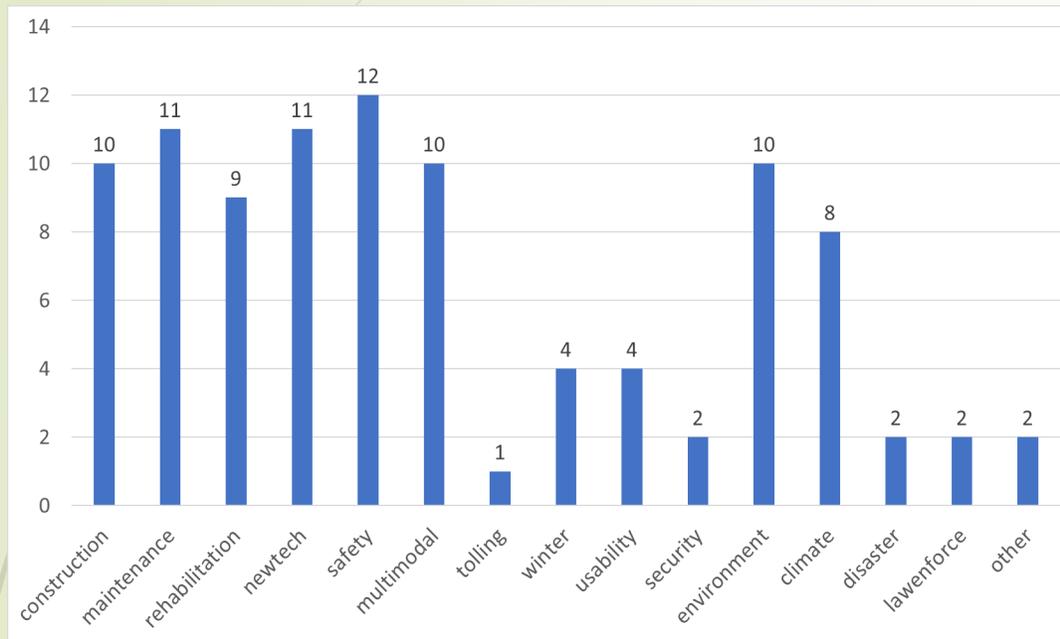


図-11 道路政策の優先分野

各国の**道路政策文書の要約の概要**は以下の通り。

- ① 16か国は直接的に道路政策に関して回答しているが、8か国はまず交通政策に言及しその中で道路政策について回答している。
- ② 各国の道路政策の要約から判断すると、オーストリア（輸送の脱炭素化）、ドイツ（構造的維持管理と新設によるネットワーク強化）、スウェーデン（道路安全）は、最重要の政策分野を一つだけ記述している。
- ③ 一方、日本、韓国、米国は4つまたは6つの重要な政策分野があり、多面的に記述している。
- ④ 多くの国は道路安全を重要政策分野と見なしている。特にスウェーデンは「ゼロビジョン」なる政策を掲げ、交通事故死者数ゼロを目指している。
- ⑤ 気候変動も、オーストリア、ブルガリア、デンマーク、日本、米国などでは優先分野。2016年に発効したパリ協定は、各国に気候変動への取り組みを求めており、CO2排出削減や脱炭素社会の実現などの対策を促している。
- ⑥ 道路機関の組織的な行政能力の向上も、韓国、チュニジア、米国では重要な道路政策の一つである。

今期の活動 道路データブックの拡充案

	主要分野	指 標
1	インフラ	① 高速道路延長
		② 主要幹線道路延長
		③ 橋梁延長
		④ トンネル延長
2	自動車	⑤ 自動車保有台数
		⑥ 運転免許証保有者数
3	交通	⑦ 自動車走行台キロ
		⑧ 貨物輸送機関分担
		⑨ 旅客輸送機関分担
4	安全	⑩ 交通事故死者数
5	環境・エネルギー	⑪ 自動車燃料消費量
		⑫ 走行1km当たりのCO2排出量
6	予算	⑬ 道路予算
7	行政	⑭ 道路政策
		⑮ 道路技術基準
		⑯ 情報・コミュニケーション関係施策

参考資料

1) PIARC Databook of Roads and Road Transport 2020-2023

[Detail of a publication | Virtual Library of PIARC | PIARC DataBook of Road and Road Transport 2020-2023](#)

2) PIARC道路データブックの編纂 -PIARC「道路統計委員会」の活動報告-
道路、2024年12月、日本道路協会

ご清聴ありがとうございました